

平成 24 年度当初予算編成について【概要】

はじめに

別紙の「平成 24 年度当初予算編成について」は、8 月 31 日に開催する庁内の平成 24 年度予算編成説明会の資料です。国・地方の財政状況、可児市の財政見通しを示したうえ、「可児市市政改革プラン 2011」に基づき、行政改革に取り組むことで、今後の実施計画との整合を図った財政運営計画を作成しました。新年度予算編成は、こうした計画を背景としたうえで取り組むこととしています。

I 国の財政状況

市の予算編成にあたっての参考として、現在の国の財政状況を示しています。

II 地方の財政状況

市の予算編成にあたっての参考として、現在の地方全体の財政状況を示しています。

III 可児市の財政状況

今後の財政状況の推計について、平成 22 年度決算を受けて見直しました。基本的な推計方法は前年度推計と同様に行っていますが、平成 22 年度決算を踏まえ、今後の見通しは若干好転しています。しかし、平成 30 年度以降投資的経費が 0 となる点などは変わっておらず、依然厳しい財政環境が続くものと見込んでいます。

【推計期間 10 年間（h24～h33）。各種制度は現行制度が継続するものとして算定。普通会計、決算ベースで推計。】

IV 財政運営計画

III で作成した財政推計をベースとし、V の実施計画を実現するために取り組まなければならない歳入の増加と歳出の抑制目標額を設定して、実施計画との整合を図った財政運営計画としています。財政推計で算定した実施計画事業に投入可能な一般財源では、計画した実施計画事業を実施できないため、行政改革への取り組みを進めることで実現するよう計画しています。

【計画期間 3 年間（h24～h26）。普通会計、決算ベースで計画。】

V 平成 24 年度予算編成方針

平成 24 年度予算編成にあたっての基本方針や留意事項等を示しています。各課の予算要求にあたり、財政運営計画で示した 3 年間の歳入の増加目標、歳出の抑制目標を達成するために、平成 24 年度に取り組むべき内容を掲載しています。

VI 実施計画

第四次総合計画前期基本計画で重点的に取り組むこととしている基本事務項目に関係する事業のうち、特に前期基本計画で設定した目標指標の達成に貢献する事業を、総合計画の基本目標別に掲載しています。